



2019年2月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年4月10日
東・名・福

上場会社名 久光製薬株式会社
コード番号 4530

上場取引所
URL <http://www.hisamitsu.co.jp/>

代表者(役職名) 代表取締役会長
最高経営責任者(CEO) (氏名) 中富 博隆

問合せ先責任者(役職名) 取締役執行役員IR室長 (氏名) 高尾 信一郎 (TEL) 03-5293-1704

定時株主総会開催予定日 2019年5月23日 配当支払開始予定日 2019年5月24日

有価証券報告書提出予定日 2019年5月24日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2019年2月期の連結業績(2018年3月1日~2019年2月28日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年2月期	143,408	△3.4	22,278	△17.3	24,647	△12.7	19,204	0.4
2018年2月期	148,466	1.7	26,940	2.3	28,245	0.2	19,119	△6.3

(注) 包括利益 2019年2月期 15,969百万円(△30.1%) 2018年2月期 22,852百万円(8.0%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2019年2月期	230.08	229.86	7.8	8.3	15.5
2018年2月期	228.52	228.35	8.1	9.8	18.1

(参考) 持分法投資損益 2019年2月期 619百万円 2018年2月期 129百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年2月期	297,512	248,161	82.8	2,981.63
2018年2月期	299,913	245,227	81.3	2,912.83

(参考) 自己資本 2019年2月期 246,473百万円 2018年2月期 243,700百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2019年2月期	15,772	△39,302	△13,347	88,782
2018年2月期	30,453	△1,378	△7,153	126,569

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2018年2月期	—	41.00	—	41.00	82.00	6,862	35.9	2.9
2019年2月期	—	41.25	—	41.25	82.50	6,863	35.9	2.8
2020年2月期(予想)	—	41.50	—	41.50	83.00		35.7	

3. 2020年2月期の連結業績予想(2019年3月1日~2020年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり当期純 利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	143,500	0.1	22,900	2.8	25,500	3.5	19,400	1.0	232.42

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年2月期	95,164,895株	2018年2月期	95,164,895株
② 期末自己株式数	2019年2月期	12,500,670株	2018年2月期	11,500,159株
③ 期中平均株式数	2019年2月期	83,468,569株	2018年2月期	83,665,026株

(注) 1株当たり当期純利益(連結)の算定の基礎となる株式数については、15ページ「1株当たり情報」をご覧ください。

(参考) 個別業績の概要

1. 2019年2月期の個別業績（2018年3月1日～2019年2月28日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年2月期	109,269	△2.9	17,788	△13.8	19,916	△6.8	15,944	9.0
2018年2月期	112,505	△0.2	20,630	△4.7	21,369	△5.9	14,621	△12.7
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2019年2月期	190.96		190.77					
2018年2月期	174.70		174.57					

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年2月期	260,274	226,749	87.0	2,737.34
2018年2月期	264,930	225,687	85.1	2,693.05

(参考) 自己資本 2019年2月期 226,356百万円 2018年2月期 225,388百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項等については、添付資料4ページ「経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。
- ・当社は、2019年4月10日に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。当日使用する資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。
- ・「2019年2月期 決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しています。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(表示方法の変更)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、国際情勢の不透明感が増し世界経済の先行きへの懸念が見られるものの、好調な企業収益と雇用環境の改善などを背景に緩やかな回復傾向となりました。

国内の医療用医薬品事業につきましては、伸び続ける社会保障費を抑制すべく、医療費抑制策が推進されており、より一層厳しい環境下で推移しました。

このような状況の中で、当社は、重点商品の経皮吸収型貼付剤を中心に事業活動を行い、医療機関のニーズに的確に対応した学術情報活動を展開しました。

国内の一般用医薬品事業につきましては、厳しい販売競争が続く中、新商品を発売し、販売促進に努めました。

研究開発活動につきましては、得意とする局所性及び全身性の経皮吸収型貼付剤の開発に資源を集中し、国内及び海外向けの医薬品開発に邁進しました。

また、海外子会社であるノーベン ファーマシューティカルズ社（以下「ノーベン社」といいます。）との研究開発活動において、人事交流を含めた連携を強化し、迅速化に努めました。

生産環境面につきましては、九州本社、宇都宮工場において、環境マネジメントシステムに関する国際規格である「ISO14001」の認証事業所として、地球環境の保全に取り組んでまいりました。

具体的には、環境関連の法規及び協定などの遵守のもと、製造工程、製品輸送方法及び空調機などの効率化を図り電力や重油などのエネルギー使用量及び廃棄物削減を行うとともに、廃棄物のリサイクル率99%以上を維持し、環境にやさしい商品づくりで環境負荷低減に取り組みました。

加えて、エネルギー管理委員会でエネルギー使用量の推移をチェックし、工場やオフィスにおいて積極的に省エネ活動を推進してGHG(温室効果ガス)の排出量低減に努めてまいりました。

社会貢献活動につきましては、企業と従業員が一体となって活動しており、歳末の海外たすけあい募金活動への参加や、マッチングギフト制度「久光製薬株式会社ほっとハート倶楽部」を通じて55団体への活動支援などを行いました。

また、西日本を中心に広い範囲で発生した平成30年7月豪雨、2018年9月に発生した北海道胆振東部地震の被害に対して、支援を行いました。

V.LEAGUE Division1 女子バレーボールチーム「久光製薬スプリングス」は、2017/18V・プレミアリーグ、平成30年度天皇杯・皇后杯全日本バレーボール選手権大会、第73回国民体育大会での優勝を果たしました。また佐賀県や兵庫県を中心に「バレーボール教室」を開催し地域にも貢献しています。

久光製薬株式会社は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会 オフィシャルパートナー(外用鎮痛消炎剤)として企業CM「『貼るを、未来へ。』貼るの原点」篇と「『貼るを、未来へ。』応援」篇を、全国でオンエアを開始しました。

「東京2020大会」の成功に貢献することに加え、「東京2020大会」にかかわる選手、大会関係者、ボランティア、観客の皆様といった全ての人々に「貼って手当てすることの良さ」をお伝えすることで、元気で、すこやかな未来を作り出す社会の実現に取り組んでまいります。

当社は「医薬品事業」のみを報告セグメントとしており、業績は次のとおりです。

[医薬品事業]

当連結会計年度の医薬品事業、とりわけ国内の医療用医薬品事業につきましては、医療費抑制策が進む中、先行きが不透明な環境下で推移しました。

このような状況の中、当社は、経皮吸収型貼付剤を中心として、医療機関への適正かつ、きめ細やかな学術情報活動、すなわち有効性・安全性に関する情報の提供・収集活動を展開するとともに、ケトプロフェン含有の経皮鎮痛消炎剤「モーラス[®]テープ」及び「モーラス[®]パップXR」、「モーラス[®]パップ」、経皮吸収型エストラジオール製剤「エストラーナ[®]テープ」、鎮痛効果の高いフェンタニルクエン酸塩含有の経皮吸収型持続性疼痛治療剤「フェントス[®]テープ」、ブプレノルフィン含有の経皮吸収型持続性疼痛治療剤「ノルスパン[®]テープ」、オキシブチニン塩酸塩含有の経皮吸収型過活動膀胱治療剤「ネオキシ[®]テープ」などの適正使用促進活動に努めました。

2018年4月には、経皮吸収型アレルギー性鼻炎治療剤「アレサガ[®]テープ」、2018年12月には、経皮吸収型持続性疼痛治療剤「フェントス[®]テープ」の新用量「0.5mg」の販売を開始しました。

次に、国内の一般用医薬品事業につきましては、経皮鎮痛消炎剤などの販売に加えて、新商品を投入し、新規顧客創造活動に努めました。

2018年3月には、新容量の水虫・たむし治療薬「ブテナロック[®]V α クリーム18g、同液18mL」、2018年4月には、雑貨品の「ブテナロック[®]除菌抗菌スプレー」、＜冷感＞経皮鎮痛消炎シップ剤「のびのび[®]サロンシップ[®]F α 」と経皮鎮痛消炎プラスター剤「サロンパス[®]120枚入」、2018年5月には、新包装の＜冷感＞経皮鎮痛消炎シップ剤「のびのび[®]サロンシップ[®]F」、2018年9月には、ジクロフェナクナトリウム配合温感テープ剤「フェイタス[®]Z α ジクサス[®]温感、同温感大判」、2019年1月には、アレルギー専用鼻炎薬「アレグラ[®]F X56錠」の販売を開始しました。

また、海外事業につきましては、ユーロモニター社より、「Salonpas[®]」がOTC医薬品（一般用医薬品）市場の鎮痛消炎貼付剤カテゴリーにおいて、2年連続で販売シェア世界No1ブランドの認定を受け、また、同カテゴリーにおいて「久光製薬」が販売シェア世界No1企業の認定を受け、2018年5月18日に認定証を授与されました。

サロンパス[®]ブランドは、海外においても積極的な販売促進活動を展開し、米国のOTC医薬品（一般用医薬品）市場の鎮痛消炎貼付剤市場における販売額シェア1位（2018年1月から2018年12月 累計販売金額）を獲得しています（Information Resources, Inc.）。

このような営業活動の結果、当社グループの当期の売上高は1,434億8百万円（前年同期比3.4%減、50億5千7百万円減）となり、当期の営業利益は222億7千8百万円（前年同期比17.3%減、46億6千1百万円減）、経常利益は246億4千7百万円（前年同期比12.7%減、35億9千8百万円減）、親会社株主に帰属する当期純利益は192億4百万円（前年同期比0.4%増、8千5百万円増）となりました。

（2）当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の総資産は2,975億1千2百万円となり、前連結会計年度末と比べて24億1百万円減少しました。主な増減は、現金及び預金(69億5百万円減)、有価証券(61億8千7百万円増)、受取手形及び売掛金(47億7千6百万円増)及び投資有価証券(36億4千9百万円減)です。

当連結会計年度末の負債合計は493億5千万円となり、前連結会計年度末と比べて53億3千5百万円減少しました。主な増減は、未払法人税等(40億2千3百万円減)及び未払金(13億4千2百万円減)です。

当連結会計年度末の純資産合計は2,481億6千1百万円となり、前連結会計年度末と比べて29億3千3百万円増加しました。主な増減は、利益剰余金(123億4千4百万円増)及び自己株式(61億7千6百万円減)です。

（3）当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末と比較して377億8千6百万円減少し、887億8千2百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは157億7千2百万円の収入(前連結会計年度は304億5千3百万円の収入)となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益(256億7千3百万円)、減価償却費(57億4千2百万円)、法人税等の支払額(93億3千9百万円)などによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは393億2百万円の支出(前連結会計年度は13億7千8百万円の支出)となりました。これは主に、定期預金の増加(362億1千8百万円)、有形固定資産の取得による支出(36億2千6百万円)などによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは133億4千7百万円の支出(前連結会計年度は71億5千3百万円の支出)となりました。これは主に、配当金の支払額(68億8千2百万円)、自己株式の取得による支出(61億7千6百万円)などによるものです。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2015年2月期	2016年2月期	2017年2月期	2018年2月期	2019年2月期
自己資本比率	77.4	79.0	81.7	81.3	82.8
時価ベースの自己資本比率	134.0	146.3	181.2	215.9	152.8
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	0.10	0.08	0.11	0.07	0.12
インタレスト・カバレッジ・レシオ	673.0	936.1	499.5	935.7	800.5

自己資本比率(%) : 自己資本/総資産

時価ベースの自己資本比率(%) : 株式時価総額/総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年) : 有利子負債/営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ : 営業キャッシュ・フロー/利払い

(注) 1. 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により計算しています。

2. 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数(自己株式控除後)により算出しています。

3. 営業キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しています。有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としています。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しています。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、医療費抑制策の影響や企業間競争の激化など引き続き厳しい事業環境が続くと予想されており、当社グループでは次のように取り組んでいきます。

国内の医療用医薬品事業につきましては、医療機関への学術情報活動を一段と強化するとともに、医療機関・患者さんのニーズに合致した新しい局所性及び全身性の医薬品開発を目指します。

国内の一般用医薬品事業につきましては、外用鎮痛消炎剤の売上伸長を図るとともに、お客様のニーズにお応えできるよう既存商品の改良及び新商品の開発を行います。

海外の事業展開につきましては、知的財産、製造技術及び品質管理技術を含めた当社ブランドの確立を図るとともに、海外生産工場の一層の充実と海外における臨床試験の促進を図ります。

次期の業績予想については、売上高1,435億円(前年同期比0.1%増)、営業利益229億円(前年同期比2.8%増)、経常利益255億円(前年同期比3.5%増)、親会社株主に帰属する当期純利益194億円(前年同期比1.0%増)を見込んでいます。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの国際財務報告基準(IFRS)適用時期等については、諸情勢を考慮しながら検討を進めています。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年2月28日)	当連結会計年度 (2019年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	117,189	110,283
受取手形及び売掛金	35,185	39,961
有価証券	14,759	20,946
商品及び製品	10,142	8,519
仕掛品	453	470
原材料及び貯蔵品	6,375	6,769
繰延税金資産	3,840	2,151
その他	2,359	4,766
貸倒引当金	△239	△299
流動資産合計	190,065	193,569
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	45,405	45,049
減価償却累計額	△29,449	△30,233
建物及び構築物(純額)	15,955	14,816
機械装置及び運搬具	38,569	39,607
減価償却累計額	△31,700	△32,948
機械装置及び運搬具(純額)	6,869	6,658
工具、器具及び備品	11,559	11,580
減価償却累計額	△9,649	△9,798
工具、器具及び備品(純額)	1,909	1,781
土地	12,628	12,348
リース資産	297	332
減価償却累計額	△215	△241
リース資産(純額)	81	91
建設仮勘定	2,619	3,860
有形固定資産合計	40,064	39,556
無形固定資産		
販売権	1,596	68
ソフトウェア	359	203
その他	2,144	1,718
無形固定資産合計	4,100	1,990
投資その他の資産		
投資有価証券	57,169	53,520
長期性預金	210	691
退職給付に係る資産	3,090	3,165
繰延税金資産	353	388
その他	5,076	4,843
貸倒引当金	△216	△215
投資その他の資産合計	65,683	62,394
固定資産合計	109,847	103,942
資産合計	299,913	297,512

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年2月28日)	当連結会計年度 (2019年2月28日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,709	8,290
電子記録債務	6,202	5,864
短期借入金	1,461	1,361
リース債務	29	26
未払金	7,278	5,936
未払法人税等	4,891	868
返品調整引当金	106	101
賞与引当金	1,674	1,629
その他	5,584	6,275
流動負債合計	34,938	30,354
固定負債		
長期借入金	504	433
リース債務	64	70
再評価に係る繰延税金負債	1,670	1,660
繰延税金負債	6,153	5,756
退職給付に係る負債	7,297	7,465
その他	4,055	3,610
固定負債合計	19,747	18,996
負債合計	54,686	49,350
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,473	8,473
資本剰余金	5,914	5,914
利益剰余金	236,342	248,687
自己株式	△34,709	△40,886
株主資本合計	216,021	222,189
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	19,101	17,009
土地再評価差額金	3,814	3,790
為替換算調整勘定	5,088	3,581
退職給付に係る調整累計額	△325	△97
その他の包括利益累計額合計	27,679	24,284
新株予約権	299	392
非支配株主持分	1,227	1,295
純資産合計	245,227	248,161
負債純資産合計	299,913	297,512

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2017年3月1日 至 2018年2月28日)	当連結会計年度 (自 2018年3月1日 至 2019年2月28日)
売上高	148,466	143,408
売上原価	55,688	54,727
売上総利益	92,777	88,680
販売費及び一般管理費	65,836	66,401
営業利益	26,940	22,278
営業外収益		
受取利息	493	800
受取配当金	724	763
持分法による投資利益	129	619
その他	456	399
営業外収益合計	1,803	2,582
営業外費用		
支払利息	32	19
為替差損	426	178
売上債権売却損	18	—
その他	20	17
営業外費用合計	498	214
経常利益	28,245	24,647
特別利益		
固定資産処分益	0	0
投資有価証券売却益	487	1,312
特別利益合計	487	1,312
特別損失		
固定資産処分損	15	72
減損損失	1,023	138
子会社株式売却損	—	74
特別損失合計	1,038	285
税金等調整前当期純利益	27,694	25,673
法人税、住民税及び事業税	9,261	4,688
法人税等調整額	△893	1,605
法人税等合計	8,367	6,294
当期純利益	19,327	19,378
非支配株主に帰属する当期純利益	207	174
親会社株主に帰属する当期純利益	19,119	19,204

連結包括利益計算書

	(単位：百万円)	
	前連結会計年度 (自 2017年3月1日 至 2018年2月28日)	当連結会計年度 (自 2018年3月1日 至 2019年2月28日)
当期純利益	19,327	19,378
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,453	△1,915
為替換算調整勘定	△1,833	△1,546
退職給付に係る調整額	791	215
持分法適用会社に対する持分相当額	113	△163
その他の包括利益合計	3,525	△3,409
包括利益	22,852	15,969
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	22,662	15,833
非支配株主に係る包括利益	189	135

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2017年3月1日 至 2018年2月28日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	8,473	5,914	224,214	△34,705	203,897
当期変動額					
剰余金の配当			△6,862		△6,862
親会社株主に帰属する 当期純利益			19,119		19,119
土地再評価差額金の取 崩			△128		△128
自己株式の取得				△3	△3
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	—	—	12,127	△3	12,124
当期末残高	8,473	5,914	236,342	△34,709	216,021

	その他の包括利益累計額					新株予約権	非支配株主持 分	純資産合計
	その他有価証 券評価差額金	土地再評価差 額金	為替換算調整 勘定	退職給付に係 る調整累計額	その他の包括 利益累計額合 計			
当期首残高	14,531	3,685	6,904	△1,115	24,007	203	1,097	229,205
当期変動額								
剰余金の配当								△6,862
親会社株主に帰属する 当期純利益								19,119
土地再評価差額金の取 崩								△128
自己株式の取得								△3
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	4,569	128	△1,815	789	3,672	95	129	3,897
当期変動額合計	4,569	128	△1,815	789	3,672	95	129	16,022
当期末残高	19,101	3,814	5,088	△325	27,679	299	1,227	245,227

当連結会計年度(自 2018年3月1日 至 2019年2月28日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	8,473	5,914	236,342	△34,709	216,021
当期変動額					
剰余金の配当			△6,883		△6,883
親会社株主に帰属する 当期純利益			19,204		19,204
土地再評価差額金の取 崩			23		23
自己株式の取得				△6,176	△6,176
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	—	—	12,344	△6,176	6,167
当期末残高	8,473	5,914	248,687	△40,886	222,189

	その他の包括利益累計額					新株予約権	非支配株主持 分	純資産合計
	その他有価証 券評価差額金	土地再評価差 額金	為替換算調整 勘定	退職給付に係 る調整累計額	その他の包括 利益累計額合 計			
当期首残高	19,101	3,814	5,088	△325	27,679	299	1,227	245,227
当期変動額								
剰余金の配当								△6,883
親会社株主に帰属する 当期純利益								19,204
土地再評価差額金の取 崩								23
自己株式の取得								△6,176
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△2,092	△23	△1,507	228	△3,394	93	67	△3,234
当期変動額合計	△2,092	△23	△1,507	228	△3,394	93	67	2,933
当期末残高	17,009	3,790	3,581	△97	24,284	392	1,295	248,161

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：百万円)	
	前連結会計年度 (自 2017年3月1日 至 2018年2月28日)	当連結会計年度 (自 2018年3月1日 至 2019年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	27,694	25,673
減価償却費	6,005	5,742
減損損失	1,023	138
子会社株式売却損益(△は益)	—	74
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	284	227
賞与引当金の増減額(△は減少)	△13	△17
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△71	64
返品調整引当金の増減額(△は減少)	△27	△4
受取利息及び受取配当金	△1,217	△1,563
支払利息	32	19
為替差損益(△は益)	69	126
持分法による投資損益(△は益)	△129	△619
投資有価証券売却損益(△は益)	△487	△1,312
固定資産処分損益(△は益)	15	72
売上債権の増減額(△は増加)	667	△5,310
たな卸資産の増減額(△は増加)	485	1,310
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△41	△892
仕入債務の増減額(△は減少)	△316	649
その他の流動負債の増減額(△は減少)	1,795	△897
その他	412	184
小計	36,180	23,665
利息及び配当金の受取額	1,240	1,465
利息の支払額	△32	△19
法人税等の支払額	△6,935	△9,339
営業活動によるキャッシュ・フロー	30,453	15,772

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2017年3月1日 至 2018年2月28日)	当連結会計年度 (自 2018年3月1日 至 2019年2月28日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額 (△は増加)	△300	△36,218
長期性預金の増減額 (△は増加)	△22	△484
有形固定資産の取得による支出	△3,131	△3,626
有形固定資産の売却による収入	82	291
無形固定資産の取得による支出	△209	△37
有価証券の増減額 (△は増加)	2,072	△530
投資有価証券の取得による支出	△691	△353
投資有価証券の売却及び償還による収入	804	1,898
貸付金の回収による収入	6	6
出資金の回収による収入	11	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	—	△247
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,378	△39,302
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	△100	△100
長期借入金の返済による支出	△71	△71
非支配株主への配当金の支払額	△59	△68
自己株式の取得による支出	△2	△6,176
配当金の支払額	△6,855	△6,882
その他	△64	△48
財務活動によるキャッシュ・フロー	△7,153	△13,347
現金及び現金同等物に係る換算差額	△963	△908
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	20,959	△37,786
現金及び現金同等物の期首残高	105,610	126,569
現金及び現金同等物の期末残高	126,569	88,782

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(連結損益計算書)

販売権許諾料等当社の研究開発の成果に基づく対価について、従来は連結損益計算書の営業外収益または特別利益に計上していましたが、今後継続して発生することが見込まれ、金額的重要性が増してきたことから、当連結会計年度より「売上高」に含めて計上しています。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組み替えを行っています。

この結果、前連結会計年度の連結損益計算書において、営業外収益の「受取ロイヤリティー」595百万円を「売上高」に組み替えています。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

当社は、医薬品の研究開発・製造・仕入・販売等を中心に事業活動を展開しており、「医薬品事業」を報告セグメントとしています。

「医薬品事業」は、医療用医薬品及び一般用医薬品等に関する事業を国内及び海外で行っています。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

当社の報告セグメントは「医薬品事業」のみであるため、記載を省略しています。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

当社の報告セグメントは「医薬品事業」のみであるため、記載を省略しています。

4 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

当社の報告セグメントは「医薬品事業」のみであるため、記載を省略しています。

(関連情報)

前連結会計年度(自 2017年3月1日 至 2018年2月28日)

1 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しています。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：百万円)

日本	米国	その他	合計
103,799	27,883	16,783	148,466

(注)売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しています。

(2) 有形固定資産

(単位：百万円)

日本	米国	その他	合計
30,596	6,670	2,798	40,064

3 主要な顧客ごとの情報

(単位：百万円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
アルフレッサホールディングス(株)	22,003	医薬品事業
(株)メディパルホールディングス	21,944	医薬品事業

当連結会計年度(自 2018年3月1日 至 2019年2月28日)

1 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しています。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：百万円)

日本	米国	その他	合計
99,360	26,765	17,282	143,408

(注)売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しています。

(2) 有形固定資産

(単位：百万円)

日本	米国	その他	合計
29,854	7,267	2,434	39,556

3 主要な顧客ごとの情報

(単位：百万円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
アルフレッサホールディングス(株)	20,400	医薬品事業
(株)メディパルホールディングス	20,224	医薬品事業

(報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報)

当社の報告セグメントは「医薬品事業」のみであるため、記載を省略しています。

(報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報)

当社の報告セグメントは「医薬品事業」のみであるため、記載を省略しています。

(報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報)

当社の報告セグメントは「医薬品事業」のみであるため、記載を省略しています。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2017年3月1日 至 2018年2月28日)	当連結会計年度 (自 2018年3月1日 至 2019年2月28日)
1株当たり純資産額	2,912.83円	2,981.63円
1株当たり当期純利益金額	228.52円	230.08円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額	228.35円	229.86円

(注) 1. 1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりです。

	前連結会計年度 (自 2017年3月1日 至 2018年2月28日)	当連結会計年度 (自 2018年3月1日 至 2019年2月28日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	19,119	19,204
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	19,119	19,204
普通株式の期中平均株式数(千株)	83,665	83,468
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(百万円)	—	—
普通株式増加数(千株)	64	81
(うち新株予約権(千株))	(64)	(81)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり 当期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりです。

	前連結会計年度末 (2018年2月28日)	当連結会計年度末 (2019年2月28日)
純資産の部の合計額(百万円)	245,227	248,161
純資産の部の合計額から控除する金額(百万円)	1,526	1,687
(うち新株予約権(百万円))	(299)	(392)
(うち非支配株主持分(百万円))	(1,227)	(1,295)
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	243,700	246,473
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式 の数(千株)	83,664	82,664

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

貼るを、未来へ。



Hisamitsu®



東京2020オフィシャルパートナー（外用鎮痛消炎剤）



筋肉痛・筋肉疲労などに
第3類医薬品



肩こり・腰痛・筋肉痛に
第3類医薬品



肩こりに伴う肩の痛み、腰痛などに
第2類医薬品



筋肉痛・筋肉疲労などに
第3類医薬品